



つばさ・アトムっ子

2014年

6月号



今月の行事



6日(金)	18:30~20:30	りす・もも懇談会
7日(土)	9:00~11:00	りす・もも懇談会
13日(金)	18:30~20:30	きりん・すいか懇談会
14日(土)	9:00~11:00	きりん・すいか懇談会
19日(木)	13:00~	内科検診
20日(金)	18:30~20:30	うさぎ・ばなな懇談会
21日(土)	9:00~11:00	うさぎ・ばなな懇談会
27日(金)	18:30~20:30	ぱんだ・ぶどう懇談会
28日(土)	9:00~11:00	ぱんだ・ぶどう懇談会

今月の全体職員会議は、6月26日(木)です。18:30までのお迎えのご協力をお願いします。

お弁当の日ご協力ありがとうございました(5/21)



写真撮影に行ったら、子どもたちがお弁当をたくさん自慢してくれましたよ。



テラスでお弁当→



ちょっと雨がやんだ
↓すきに2号公園へ



←ロッジに見立てて
それぞれの家を作って
中で食べました。



【つばめ到来の季節がやってきました】

仲嶺 真弓

季節は初夏を迎えました。つばさでも昨年は、5月に入るとすぐにつばめが飛びかう姿が見られましたが、今年の到来は少し遅く、半ば過ぎた頃にやってきました。昨年、一昨年と5～6月にかけてつばめがせっせと作った巣を落とし続けたので、もう諦めてくれたかと思ったけれど、自然の摂理はそう簡単には曲げられないものですね…。今年もつばめとの巣作り・巣落とし競争の幕開けを迎えました。今までで、いろいろ試し、一番効力があつたのは、池本保育士発案のアルミホイル貼り作戦と、一森事務員のカラスの鳴き声作戦です。まずは、先手必勝と、毎年つばめが巣を作る定番の場所に、アルミホイル貼り作戦を決行しました。今年もアルミホイルに映る自分の影に驚きつばめは退散するだろう。…のはずが、今年をつばめはなかなか引き下がってくれず、果敢にもアルミホイルをくちばしで突き、剥がそうとしていました。アルミホイル剥がしが無理と判断すると、次はテラスのサーチライトの上で巣作りが始まる始末。巣を落としては、サーチライトを磨く作業が増えたけれど、でも、又いつの間にかライトはドロドロに…。まだもう少しは、つばめとの攻防が続きそうですが、つばめの巣はダニの巣でもあるので、つばめが卵を産まない内に、巣落としに励みたいと思います。

【5月の保育・保護者の声】

●5/13(火)に「地震発生後、給食室から出火」という設定で、消防署立ち合いによる避難訓練を実施しました。災害はいつ起こるか予想不可能なので、大所帯で生活している今現在も、常日頃から避難経路と避難方法を意識しておくことは重要です。意識した上で、消防士のプロの目でも見てもらいアドバイスを頂きました。0・1歳児は、室内での地震発生時対応のみ実施。室外避難は職員の想定で行いました。以下は頂いたアドバイスです。

- ・火災伝達をするにあたり、職員は地声でしていましたが、それにも限界があるので拡声器などを利用してはどうか → 拡声器購入します
- ・避難誘導という点で、靴をはいている子、いない子がいたので、今回は地震による避難なので、靴を履いて避難した方がよい → 職員に周知



避難訓練の後は、
消防自動車と
記念撮影

- 5歳児クラス、2歳児クラスの保護者から、アトム（東保育所）の保育、園児、職員のどんな状況なのか知りたいという意見を頂きました。今すぐできることとしては、各園の保育便り（“アトムっ子”と“つばさ・アトムっ子”）の閲覧を考えています。各クラスに1冊、閲覧用に設置しますので、送迎時に見て下さい。
- 送迎時、近隣の住宅街を通る車を見かけました。知らずに通っている方がいるのではないのでしょうか？という声を聞いたので、再度お知らせのポスターを作り、駐車場フェンスに貼りました。今一度、近隣の迷惑にならないようご協力をお願いします。これからの季節、“アイドリングストップ”にもご協力をお願いします。



園を利用する方々のモラルが問われています。
少しのことだからと考えず、今一度再確認してください。

【5月の職員会議】

職員会議の日は、早めのお迎え・夜間保育利用の調整など、ご協力ありがとうございます。しっかり、職員のスキルアップに繋がっていきたいと思います。今月は、以下の内容でディスカッションしました。

- ①虫除け剤について → 基本的な知識を共通認識しました。(保護者の方にも知ってもらいたいので、別ページにまとめていますのでぜひ読んで下さい。)
- ②登園許可書・投薬届について
→保護者からの質問を元に、自分ならどう考え、応えるかをディスカッションしました。
- ③保育所保育指針の読み合わせ、日々の自分の保育を振り返る
→ 自分達が目指す保育に立ち返り、日々の自分の保育は、それに向かえているのかを振り返りました。

【更地のアトムを見て3年前のつばさ開園を思い出す】

5/22（木）に、アトム園長の田丸と一緒に、建物が何もかもなくなりポツリと藤棚だけが残された更地状態のアトムを見てきました。現地で、定年退職後も引き続きアトムの建て替え事業に関わっている理事長市原と合流。3人並んでアトムの敷地を眺め、改めて数字上で想像していたよりも広いことに驚きました。建物取り壊しの掘削作業なども、地域住民の方にご理解して頂き無事終わることができ、縄張り作業（敷地に縄を張って建物の位置を決める）工程までできています。これからの梅雨の時期が気がかりではありますが、今のところ、工事予定は順調に進んでいます。園舎設計者、工事現場監督の方から縄張りの説明を受けました。説明を受けながら、何気に園庭側の樹木を見ると、心なしか少し見ない内に大きく成長しているようにも見えます。アトム新園舎もつばさ園舎と同じように探検が楽しめて、光と風が自然に頬をかすめることができる園舎に生まれ変わろうとしています。新しい園舎の完成が楽しみです。

そういえば、つばさ園舎が建つ時も同じように縄張りの説明を受けました。その時も園舎完成を楽しみに感情が高ぶったことを覚えています。思い起こせば開園に向けて地域住民の方の理解を得る為に、地域説明会もしました。説明会を開いてくれたのはアトム保護者会でした。今、つばさの地域につばさ共同保育園があるのは、当たり前のことのように当たり前ではない。いろいろな形で協力してくれた人達がいってくれたから今がある。そのことを忘れてはいけないと改めて心に刻みました。



建物がなくなると広く感じます。↑

更地になったアトムにて。↑

市原おっことアトム園長田丸あけみ 撮影 仲嶺



↑ 藤棚は残したままで工事続行！



ご近所の皆様には騒音と振動ご迷惑をおかけしています。